

各検討項目比較表

(1) 現体育センター敷地

評価：高 5 > 4 > 3 > 2 > 1 低

	A 案	B 案	C 案	D 案	E 案
配置案					
配置概要	アリーナを敷地南側1F、サブアリーナを北側1Fへ配置して渡り廊下でつなぐ計画案。サブアリーナの地盤レベルは現状のままとし、アリーナ棟2Fとサブアリーナ棟2Fをつなげる。駐車場は現体育館位置に立体駐車場と平面駐車場を併設する。	アリーナを敷地北側1F、サブアリーナを南側1Fへ配置する計画案。駐車場は現体育館位置に立体駐車場と平面駐車場を併設する。	アリーナを敷地南側2F、1Fに事務室やトレーニング室を配置し、サブアリーナを西側1Fへ配置する計画案。駐車場は現体育館位置に平面駐車場、現テニスコート位置に立体駐車場を配置する。	敷地南側1Fをピロティー形式の平面駐車場、2Fにサブアリーナ、3Fにアリーナ、4Fに観覧席を設置する計画案。現体育館とテニスコート位置に平面駐車場を配置する。	敷地南側1Fにサブアリーナ、事務室等の諸室関係、2Fにアリーナを設置する計画案。現体育館とテニスコート位置に平面駐車場を配置する。
(1) 利用のしやすさ	2 <ul style="list-style-type: none"> 車両出入口が3か所あるが、北東側は道幅がやや狭い。南側は道幅がやや狭いに加え、信号交差点が近く、出入りに不便である。どちらも車両が交錯した時に支障が出る可能性がある。東側が車両のメイン出入口となるが、ここも現在の半分程度の道幅となる。 施設レイアウトは、アリーナ配置の都合から駐車場からエントランス、エントランスから武道館等への動線が長くなり利便性に劣る。 	4 <ul style="list-style-type: none"> 車両出入口が2か所あるが、北東側は道幅がやや狭い。南側は道幅がやや狭いに加え、信号交差点が近く、出入りに不便である。どちらも車両が交錯した時に支障が出る可能性がある。 施設レイアウトは、駐車場からエントランスまで近い。また、サブアリーナ、武道館は渡り廊下でつながるが、動線は比較的短い。 	3 <ul style="list-style-type: none"> 車両出入口が2か所あるが、北東側は道幅がやや狭い。南側は道幅がやや狭いに加え、信号交差点が近く、出入りに不便である。どちらも車両が交錯した時に支障が出る可能性がある。 メインアリーナが2F、サブアリーナ、武道館は渡り廊下でつながり、複雑なレイアウトとなるが動線は比較的短い。 	3 <ul style="list-style-type: none"> 車両出入口が3か所あるが、北東側は道幅がやや狭い。南側は道幅がやや狭いに加え、信号交差点が近く、出入りに不便である。どちらも車両が交錯した時に支障が出る可能性がある。東側はピロティー駐車場への進入はしやすい。 ピロティーは日除け、雨除けになるので車利用者には利便性が高い。 建物は階数が多くなるため、建物内動線が複雑で長くなる。また、武道館・弓道場利用時には2階の事務所に寄ってから再度1階に降りなければならぬ。 	4 <ul style="list-style-type: none"> 車両出入口が2か所あるが、北東側は道幅がやや狭い。南側は道幅がやや狭いに加え、信号交差点が近く、出入りに不便である。どちらも車両が交錯した時に支障が出る可能性がある。 駐車場からエントランスまでの動線が短く、利便性はよい。 建物が南側にまとまっているため、建物動線は短い。また、アリーナを除くサブアリーナ、諸室がすべて1Fにあることは利便性が高い。武道館へのアクセスもしやすい。
(2) 周辺環境	4 <ul style="list-style-type: none"> 周辺地域における日影の影響は少ない。 電波障害は北側$\theta=345.8^\circ$ TNの角度で遮蔽障害が発生しているが、範囲内には民家等の建物がない為問題ないと考えられる。 民家とサブアリーナ棟が近い為、館内からの騒音は防音サッシや外壁構造での遮音対策を講じる必要がある。 北東側出入口と中央小学校の南側校門・通学路が重複している為、児童の安全確保のための対策が必要となる。 	4 <ul style="list-style-type: none"> 周辺地域における日影の影響は少ない。 電波障害は北側$\theta=345.8^\circ$ TNの角度で遮蔽障害が発生しているが、範囲内には民家等の建物がない為問題ないと考えられる。 民家とメインアリーナ棟が近い為、館内からの騒音は防音サッシや外壁構造での遮音対策を講じる必要がある。 北東側出入口と中央小学校の南側校門・通学路が重複している為、児童の安全確保のための対策が必要となる。 	4 <ul style="list-style-type: none"> 周辺地域における日影の影響は少ない。 電波障害は北側$\theta=345.8^\circ$ TNの角度で遮蔽障害が発生しているが、範囲内には民家等の建物がない為問題ないと考えられる。 民家と立体駐車場が近い為、立体駐車場からの騒音は、遮音対策を講じる必要がある。 北東側出入口と中央小学校の南側校門・通学路が重複している為、児童の安全確保のための対策が必要となる。 	3 <ul style="list-style-type: none"> 周辺地域における日影の影響は少ない。 地上4階、建物高さ約26.5mとなり、電波障害は北側$\theta=345.8^\circ$ TNの角度で遮蔽障害が発生しており、北北西の民家に影響を与えると予測される。 館内からの騒音は、防音サッシや外壁構造での遮音対策を講じる必要がある。 北東側出入口と中央小学校の南側校門・通学路が重複している為、児童の安全確保のための対策が必要となる。 	4 <ul style="list-style-type: none"> 周辺地域における日影の影響は少ない。 電波障害は北側$\theta=345.8^\circ$ TNの角度で遮蔽障害が発生しているが、範囲内には民家等の建物がない為問題ないと考えられる。 館内からの騒音は、防音サッシや外壁構造での遮音対策を講じる必要がある。 北東側出入口と中央小学校の南側校門・通学路が重複している為、児童の安全確保のための対策が必要となる。
(3) 工事工程	2 37か月(3年1か月) テニスコート、一部の管理棟を解体後、テニスコート跡地に平面駐車場を整備し、新体育館(アリーナ)の建設を行う。アリーナ棟の完成後、現体育館の解体撤去を行う。その後、立体駐車場を建設後、平面駐車場の整備(129台)を行った後、残りの新体育館(サブアリーナ)の建設を行う。	2 34.3か月(2年10.3か月) テニスコート、一部の管理棟を解体、敷地南側の平面駐車場の整備を行った後、新体育館(アリーナ)の建設を行う。アリーナ棟の完成後、現体育館の解体撤去を行う。その後、立体駐車場の建設と平面駐車場の整備(115台)を行った後、残りの新体育館(サブアリーナ)の建設を行う。	2 38か月(3年2か月) テニスコート、一部の管理棟を解体後、立体駐車場の建設を行った後新体育館(アリーナ)の建設を行う。アリーナ棟の完成後、現体育館の解体撤去を行う。その後、平面駐車場の整備(153台)を行い、残りの新体育館(サブアリーナ)の建設を行う。	3 25.5か月(2年1.5か月) テニスコート、一部の管理棟を解体後、平面駐車場の整備(105台)を行い、新体育館を建設する。新体育館完成後に現体育館を解体撤去する。新体育館が4F建てのため建設工期は少し長くなるが、立体駐車場がない為、全体工期は短くなる。その後、平面駐車場の整備(211台)を行う。	3 24.3か月(2年0.3か月) テニスコート、一部の管理棟を解体後、平面駐車場の整備(105台)を行い、新体育館を建設する。新体育館完成後に現体育館を解体撤去する。その後、平面駐車場の整備(202台)を行う。立体駐車場がないため、全体工期は短くなる。
(4) 建設期間中の体育館利用者や周辺施設利用者への影響	2 <ul style="list-style-type: none"> 仮設駐車場敷設の為、早い段階でテニスコートが利用不可となる。 現体育館、武道館を使用しながらの建設となるため、長期間にわたり利用者に対して工事中の安全を配慮する必要がある。 工事工程により、仮駐車場の一部に利用制限をかける必要が生じる。 	2 <ul style="list-style-type: none"> メインアリーナ建設の為、早い段階でテニスコートが利用不可となる。 現体育館、武道館を使用しながらの建設となるため、長期間にわたり利用者に対して工事中の安全を配慮する必要がある。 工事工程により、駐車場の一部に利用制限をかける必要が生じる。 	3 <ul style="list-style-type: none"> 立体駐車場建設の為、早い段階でテニスコートが利用不可となる。 現体育館、武道館を使用しながらの建設となるため、長期間にわたり利用者に対して工事中の安全を配慮する必要がある。 	3 <ul style="list-style-type: none"> 平面駐車場敷設の為、早い段階でテニスコートが利用不可となる。 現体育館、武道館を使用しながらの建設となるため、長期間にわたり利用者に対して工事中の安全を配慮する必要がある。 	2 <ul style="list-style-type: none"> 平面駐車場敷設の為、早い段階でテニスコートが利用不可となる。 現体育館、武道館を使用しながらの建設となるため、長期間にわたり利用者に対して工事中の安全を配慮する必要がある。 工事工程より、駐車場の一部に利用制限をかける必要が生じる。
(5) 概算建設費(千円)	3 4,220,400	3 4,475,740	2 4,760,980	2 4,677,920	4 4,147,900
(6) 交通アクセス	5	5	5	5	5
(7) 防災	4	4	4	4	4
(8) 治安	5	5	5	5	5
(9) 管理方法	5	5	5	5	5
総合評価	32	34	33	33	36